

中海水産資源生産力回復調査の実施状況について

1 概要

国土交通省により整備が進められている中海の造成浅場（大崎地先）を水産資源（マハゼ）の生産の場として利活用する方策を調査、検討する。

2 期間

平成24年度（下半期）～（平成26年度）

3 調査水域

大崎地区地先の造成浅場

4 主な調査対象生物



マハゼ



図 調査海域の大崎地先造成浅場

マハゼ *Acanthogobius flavimanus*

容姿に似ず綺麗な白身、ほくほくとした食感も良く、上品な甘みがある。秋の焼きハゼ作りは境港の風物詩。これを水でもどし甘辛く炊いたものは県西部地方の伝統的なお節料理。

5 調査の状況（途中経過）

① 造成浅場における魚類の生息環境

- ・ソリネット、投網、サーフネット、潜水調査等により、造成浅場内の魚類の分布状況を調査した。
- ・秋～冬にかけては、非常に貧弱な魚類相であった。
 - ・・・H24年秋季：アオコ発生。
 - 冬季：低水温期間が長期間続く。
- ・3月頃より、造成浅場内に種々の魚類幼魚が出現し始めた。
- ・マハゼは、6月頃より体長5cmの幼魚が出現し始めた
- ・2013年7月上旬にはマハゼが造成浅場内の優占種となる。
- ・2013年7月下旬以降マハゼの分布量が日により大きく増減。
 - 気象攪乱により、貧酸素水が造成浅場内に進入している可能性が考えられた。

<写真>



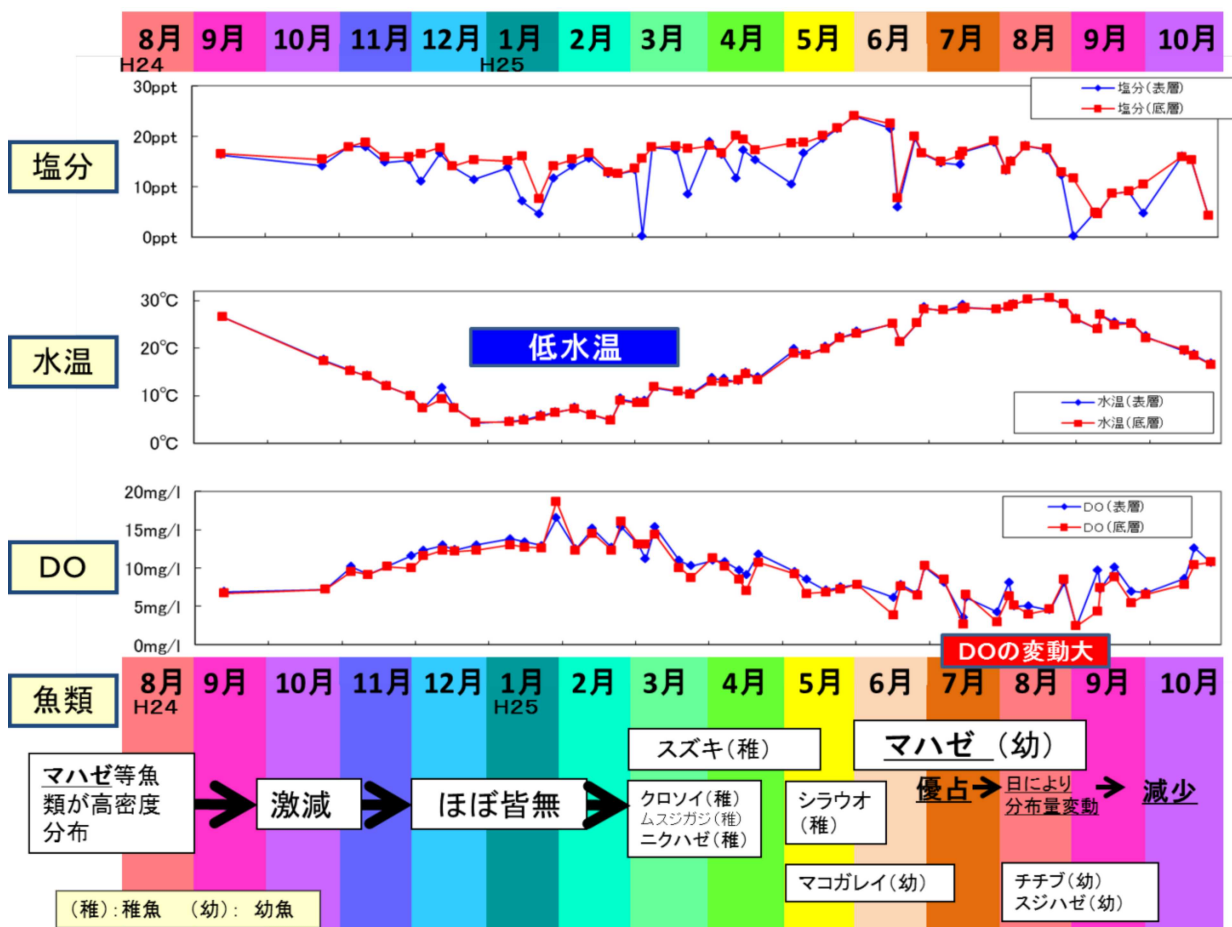


図 造成浅場内の環境データと魚類相の概要

② 竹林礁の設置

- ・ 2012年12月に造成浅場内に竹100本を設置。
- ・ 夏頃より、竹に貝類、フジツボ類、海藻等の生物付着が見られるようになった。
- ・ 2013年8～9月に伐採した木や竹の枝等の束を増設。
- ・ 竹林礁への魚類等の蝟集状況については、今後もモニタリングを継続していきたい。



〔竹林礁設置2012. 12. 27〕



〔2013. 02. 28〕

〔2013. 04. 18〕

〔2013. 05. 21〕



〔枝束の設置2013. 8～9月〕